

説明会・アカウント登録サポート会開催(無料!院外利用が可能に!!)お知らせ



エビデンスに基づいた臨床意志決定支援ツールとして、世界191カ国の医療従事者が利用。米国内科専門医の再認定試験では試験中にUpToDateのアクセス権が付与され、解答がわからない時はリファレンス資料としてのアクセスが許可されています。医師・薬剤師・看護師・学生等、貴施設所属の全ての方がご利用可能です。

■ 2025年10月23日(木): 登録会

12:00～17:00

臨床研究棟3階 病院側エレベーター前

※登録用PCを準備いたします。院外利用ができるように個人アカウントの作成を先着順にサポートいたします。**手続き中、認証コードがメールで届くため、すぐに確認できるスマホをご持参ください。**

■ 2025年10月24日(金): オンライン説明会

16:30～17:00

<https://x.gd/tYcZO>

参加方法: PC: 上記URLをChromeかEdgeのURLに入力し、「このブラウザで参加」をクリックします。

スマホ・タブレットの場合: 事前にMicrosoft Teamsのアプリをダウンロードし、右記QRコードを読み取ってください。



右記QRコード
(<https://bit.ly/3XWtJ11>) から
UpToDateの資料をご覧いただけます。

オンライン説明会では、UpToDateの概要や、どのようなコンテンツが閲覧できるか、基本的な使い方についての説明をさせていただきます。本説明会は録画され、後日視聴も可能です。

医師は研修医時代に専門外の診療科も経験しているはずですが、当時の知見がそのまま役に立つわけではありません。日々更新されていく診療に関する情報をUpToDateから積極的に収集していくことは、診療スキルの向上だけでなく、医師としての生涯学習にもつながっていくでしょう。

UpToDateは、日本のガイドライン等の枠組みを超えて「本当に患者さんのためになる医療」を提供するために重要なツールとも言えるのではないのでしょうか。

患者さんのために学びたい医療者にとって、UpToDateにより世界標準の医療情報にアクセスし科学的根拠のある情報を利用できることは、完全なブレイクスルーといえます。

当院では各病棟に薬剤師が配置されており、配置先の分野に特化した情報を検索することが多いです。実際の利用頻度としては1日に5～6回程度、UpToDateに包含されている「相互作用チェック」が非常に多いです。日本の添付文書には載っていない相互作用、小児や高齢者の投与量を検討する際などに利用しています。もう一つは、医薬品情報室での利用です。各診療科や外来などから薬剤に関する問い合わせがあった場合、海外の情報がほしい時にも利用します。